

オープンハウスの実施について

1. 開催目的

市の現状・課題やまちづくりの方針等に係る情報を市民に提示し、立地適正化計画に基づくまちづくり意向収集と令和6年度から予定している届出制度に対する案内を目的とする。

2. 開催概要

項目	内容
開催日程	2023年4月下旬を想定
開催場所	以下の市内3か所で開催します。 <ul style="list-style-type: none"> ・和光市役所 ・イトーヨーカドー和光店 ・和光市図書館下新倉分館
開催方法	オープンハウス型 <ul style="list-style-type: none"> ・説明パネルの展示及び簡易アンケートの実施 ・パネルの展示期間を1週間とし、平日休日など、最も多くの人々の来訪が見込まれるタイミングで、各1日現地スタッフを配置し、聞き取りや現地説明等を行う。 <div style="background-color: #e6f2ff; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・説明パネルは、立地適正化計画の説明、市の現況や今後のまちづくりの方針等をパネル（A1サイズ）7枚程度にまとめることを想定 ・簡易アンケートは、パネルアンケートにシールを貼って回答いただく形式を想定（3問） </div>
開催周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・広報わこうや市ホームページへの掲載 ・和光市 twitter(ツイッター)など市公式 SNS などで発信

和光市「立地適正化計画」 オープンハウス

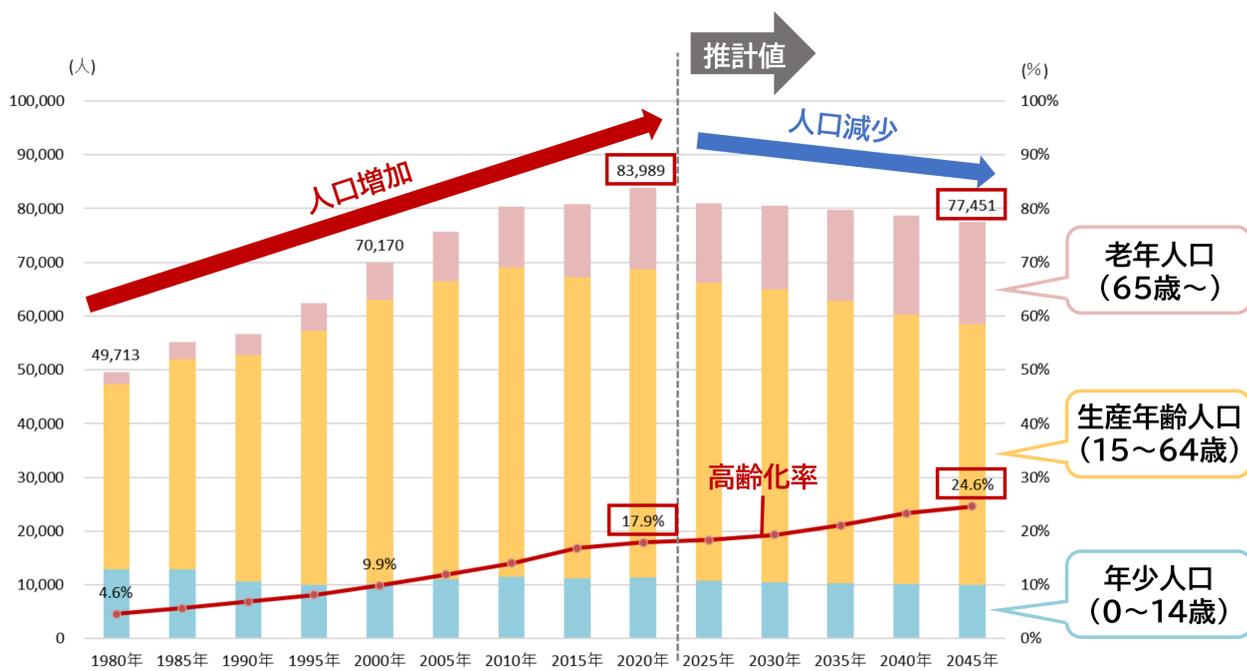


和光市の都市の現状や今後の都市づくりのあり方に関する
パネル展示を実施しています。
ぜひご覧いただき、みなさまのご意見をお聞かせください！

1.和光市の現況・課題

人口推移

和光市の総人口は緩やかに減少する見込みですが、高齢化は進行する見込みです。



このままだと…



地域におけるまちづくりの
担い手の減少や
地域コミュニティの希薄化
が懸念されます

都市機能施設

※行政、医療、福祉、子育て支援、教育文化、商業などの都市の生活を支える機能を備えた施設のこと

市街化区域内は、各都市機能施設の徒歩利用圏が概ねカバーしており、特に駅や市役所周辺、埼玉病院周辺、新倉小学校周辺に多くの施設が集積しています。



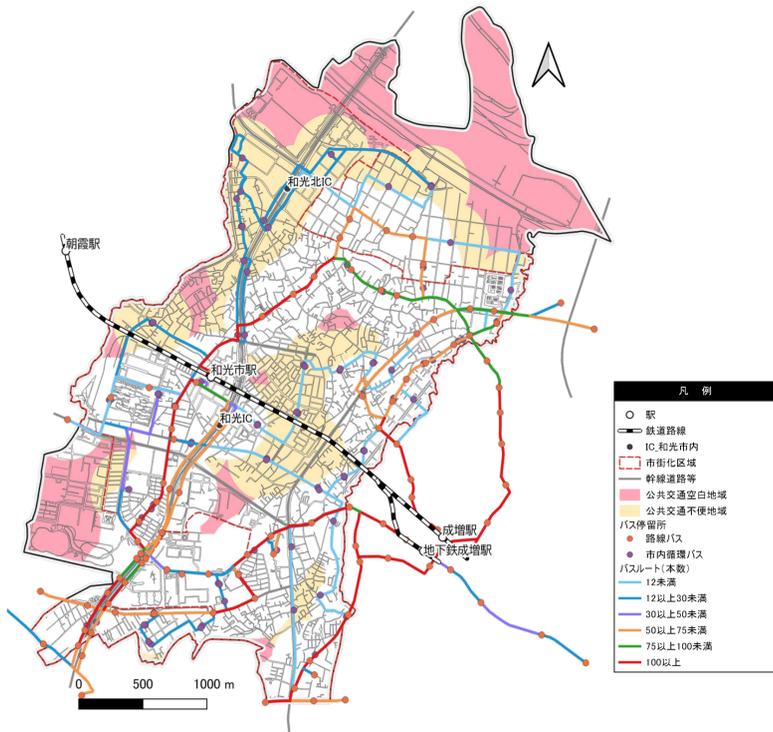
このまま人口減少や
少子高齢化が進むと…



人口構成の変化や時代のニーズに
合わなくなることも懸念されます

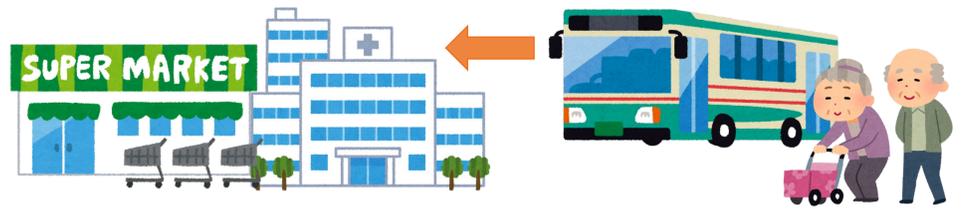
公共交通

鉄道と高頻度な民間の路線バスにより、地域公共交通ネットワークが形成されています。バス交通の徒歩利用圏は住宅地の大半をカバーしています。



さらに…

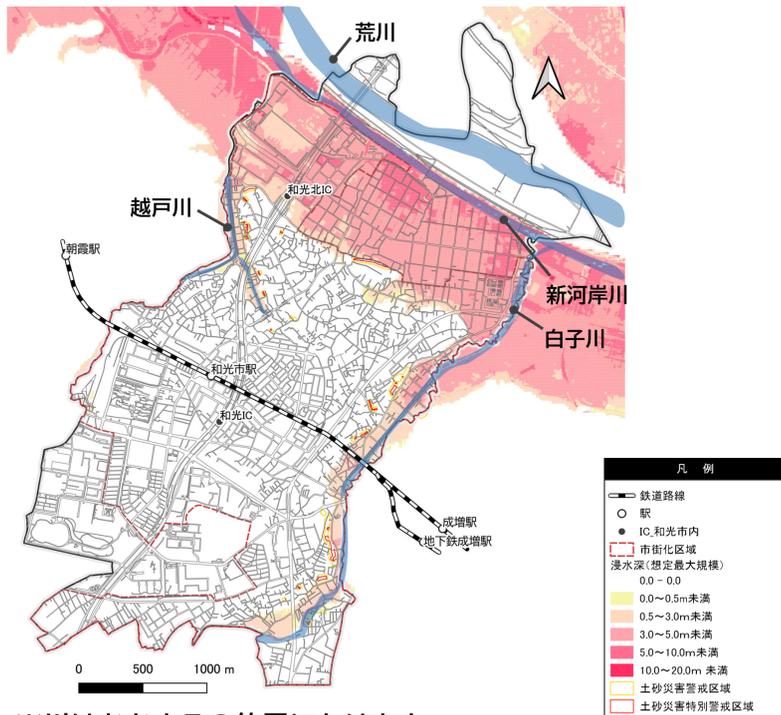
日常的な公共交通として、**将来にわたり維持していくことが**必要です。



また高齢化の進行に伴い、公共交通による**高齢者の移動の確保**が必要で

災害

市北部及び東部は、浸水リスク及び土砂災害の可能性のあるエリアが存在しています。



※川はおおよそその位置になります

このままだと…



人がたくさん住む地域に**災害の危険性が**
高い場所も見られ、人的・物的被害が
懸念されます



狭い道路や起伏のある地形など
地域特性によって、**迅速な避難が困難**
になることが懸念されます。



そうならないために！

将来にわたり、まちをより便利で暮らしやすくするため、**立地適正化計画を策定します**

～今から人口減少等に対応できるまちづくりをみなさまと一緒に考える必要があります～

みんなが好きと思える
まちにするには
何をすればよい？

どんな施設があれば、
まちの魅力が高まる？

高齢者が元気に
暮らせるまちって
どんなまち？



2.立地適正化計画とは

上位計画との位置付け

立地適正化計画は、和光市都市計画マスタープランを具体化するものであり、和光市総合振興計画や関連する各種計画と整合したものとなっています。

第五次和光市総合振興計画



即する

都市計画マスタープラン

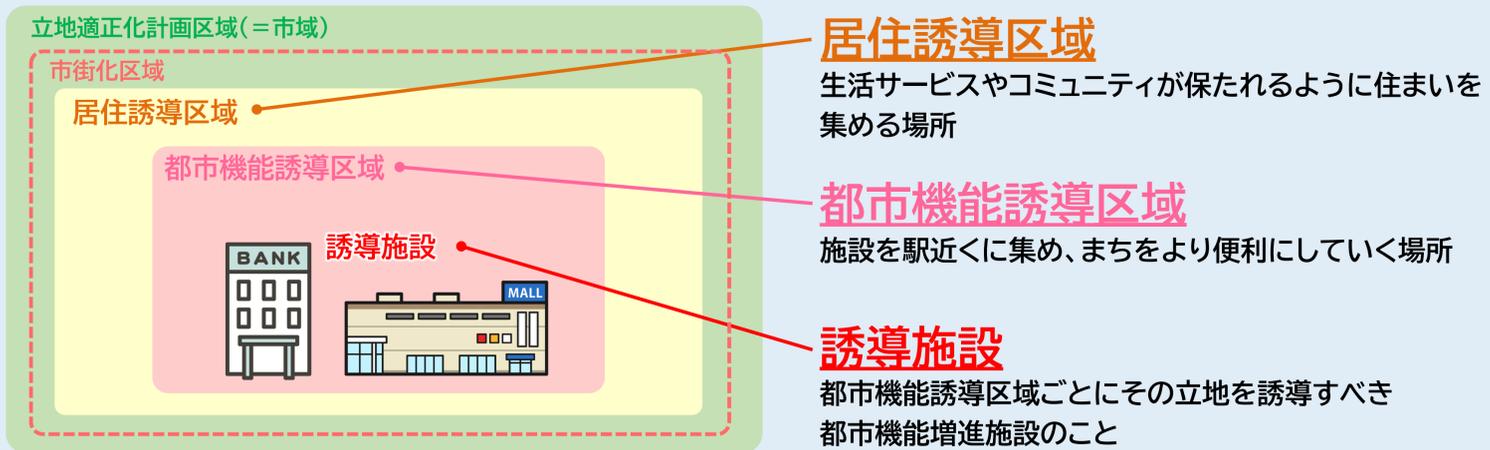
住民に最も身近な和光市が、地域に密着した計画とするため、**地域のみなさまの意見を踏まえて都市計画の基本方針を定めるもの**



具体化

立地適正化計画

生活に必要な施設を集める区域(都市機能誘導区域)、住まいを集める区域(居住誘導区域)を決めることで、公共交通や施設を使いやすい範囲に都市機能と居住(住まい)を集め、まちをより便利で暮らしやすくするもの



立地適正化計画が策定されると...

届出制度について

都市再生特別措置法に基づき、以下の場合に着手する**30日前まで**に市へ届け出ることが義務付けられる

- 届出対象 1
- 届出対象 2
- 届出対象 3

都市機能誘導区域外に誘導施設を建てる場合

都市機能誘導区域内の誘導施設を**休廃止**する場合

居住誘導区域外に**一定規模以上**※の**住宅等**を建てる場合
※3戸以上、または1,000㎡以上



3. まちづくりの方針【案】

「都市機能誘導」「居住誘導」「公共交通ネットワーク」の3つの枠組みにより立地適正化計画における「まちづくりの方針」を設定して、将来にわたり持続可能な都市の形成を目指していくものとします。

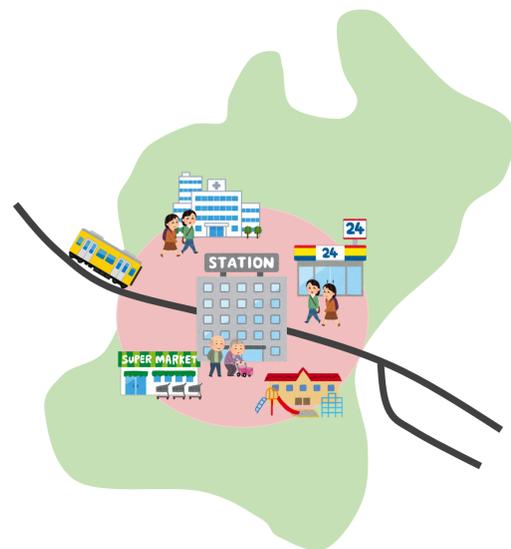
【まちづくりの基本方針(ターゲット) 都市機能誘導】

市全体の活力をけん引する拠点における都市機能の集積と魅力的な空間の形成

【施策の方向性(ストーリー)】

和光市周辺駅の拠点性の向上 和光市駅周辺

- 都市全体の魅力やにぎわいの向上を図る都市機能の充実や環境整備等により、さらなる拠点性の向上を図ります。
- 広域的な交通節点の特性を活用し、中心市街地の拠点性を向上させることで市内全域に利便性を享受でき、にぎわいが生まれ快適に暮らせるまちを目指します。



【まちづくりの基本方針(ターゲット) 居住誘導】

多世代が暮らし続けられる安全・快適な住環境

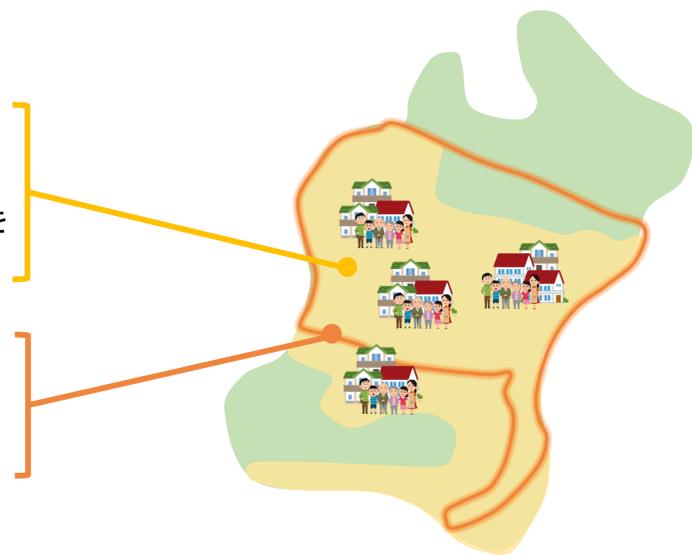
【施策の方向性(ストーリー)】

地域特性を生かした良好な住環境の形成 市街化区域全域

- 持続的な生活利便性のため、居住誘導を推進し、人口規模を維持します。
- 既存の居住タイプに応じた居住誘導施策をを発展することで、様々なライフスタイルを受け入れることができる住宅都市を目指します。
- 身近な生活圏の単位毎に日常生活に必要な機能の適切な立地を図ります。

防災・減災を踏まえた居住地形成 災害の可能性が高いエリア

- 災害リスクが少ないエリアへ居住を誘導し、災害リスクに応じたハード・ソフト対策の推進により、安全性を確保した安心できる居住地の形成を誘導します。



【まちづくりの基本方針(ターゲット) 公共交通ネットワーク】

拠点間及び居住地をつなぐ利便性の高い公共交通ネットワークの維持・充実

【施策の方向性(ストーリー)】

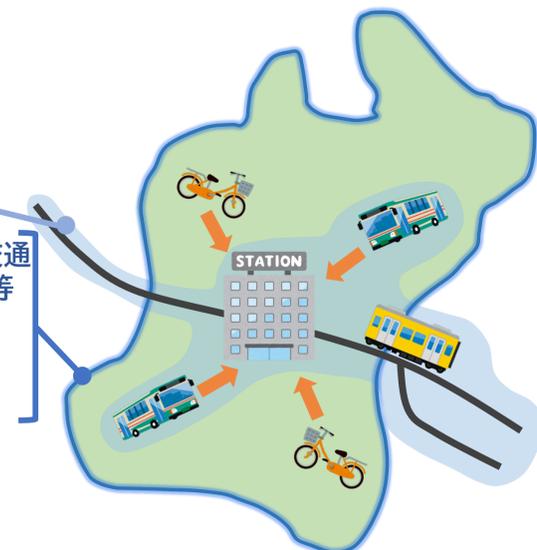
拠点における交通結節機能の強化 市街化区域全域

- 交通拠点における鉄道、バス、自転車道の乗り継ぎをやすくし、公共交通が利用しやすい環境を形成します。

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの推進

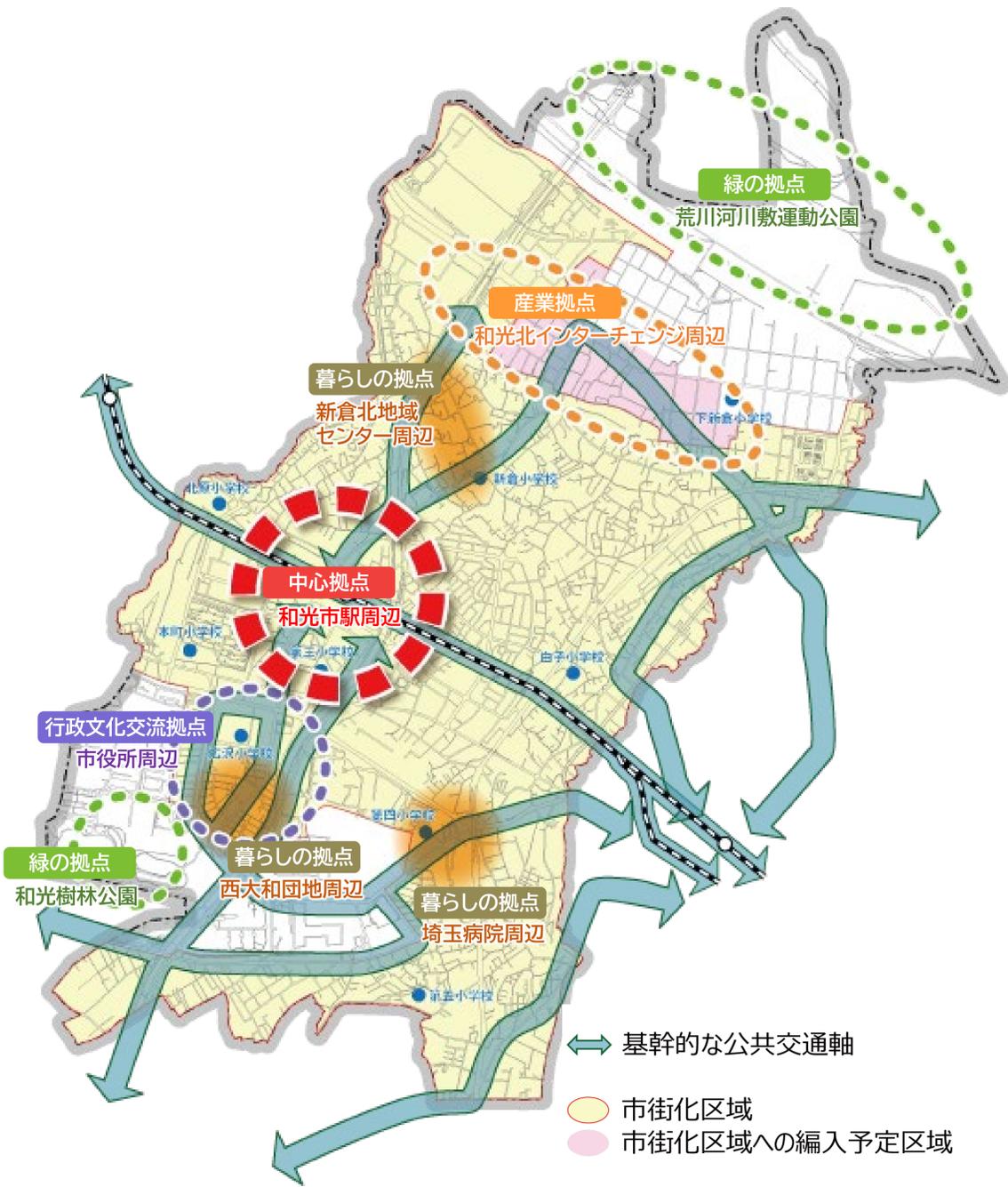
- 拠点や主要な施設などに移動できる公共ネットワークの維持・充実に努めます。
- 移動ニーズや地域特性を踏まえ、交通不便の解消を図ります。
- 新たな技術を活用し既存の公共サービスの向上や、新しい交通サービスの導入により、移動の利便性を図ります。

既存の公共交通ネットワーク等



4.都市の骨格構造【案】

まちづくりの方針の実現に向けて、和光市がこれから目指していくべき都市の形を決めていきます。



中心拠点

和光市駅周辺

土地の高度利用を推進し、都市全体の魅力やにぎわいの向上を図る多様な都市機能を集積し、市民生活を支えるとともに、交通結節点として滞留環境を整え、まちの顔となる拠点を形成する

都市機能誘導区域を設定する
拠点へ位置付け

暮らしの拠点

埼玉病院周辺

周辺の小学校の複合化等を契機として地域のための施設を集積し、暮らしを支える拠点を形成する。地域住民のみならず市内外から多くの来訪者が利用する埼玉病院を核としつつ医療・福祉機能を維持する

西大和団地周辺

周辺の小学校の複合化等を契機として地域のための施設を集積し、暮らしを支える拠点を形成する。UR都市機構が進める西大和団地再生事業との連携を通じ、周辺地域一帯的な賑わいの創出を図る

新倉北地域センター周辺

周辺の小学校の複合化等を契機として地域のための施設を集積し、暮らしを支える拠点を形成する。新倉北地域センターを中心とした地域住民の交流の場づくりを推進するとともに、交通結節点としての環境を整える

居住誘導区域内での
エリア単位での施策による機能誘導

行政文化交流拠点

市役所周辺

核的な公共施設が集積する重要な拠点として、市民やまちを訪れる人々に憩いや交流の場を提供できる空間の形成を図る

産業拠点

和光北インターチェンジ周辺

環境負荷の軽減、周辺環境との調和を踏まえつつ、地域産業や都市農業の振興を図りながら、交通の利便性を生かした産業拠点の創出を図る

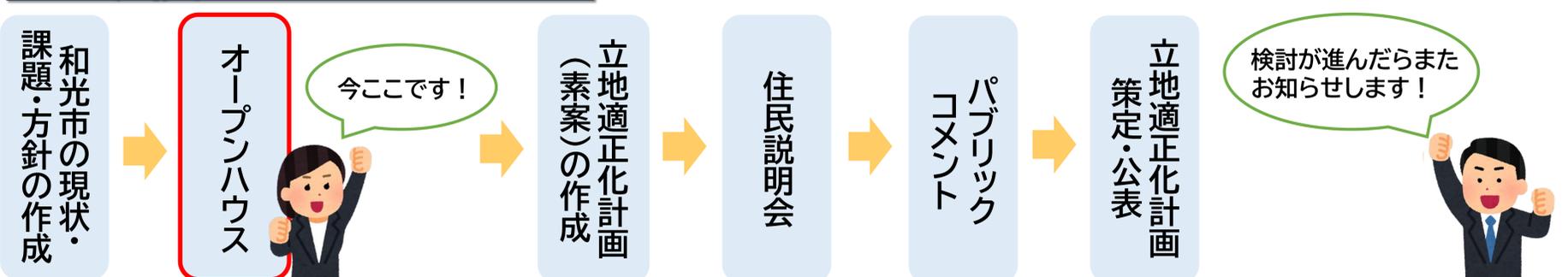
緑の拠点

和光樹林公園・荒川河川敷運動公園

自然とふれあうことができる市民の憩いの場として、機能の維持・充実と適切な維持管理を図る

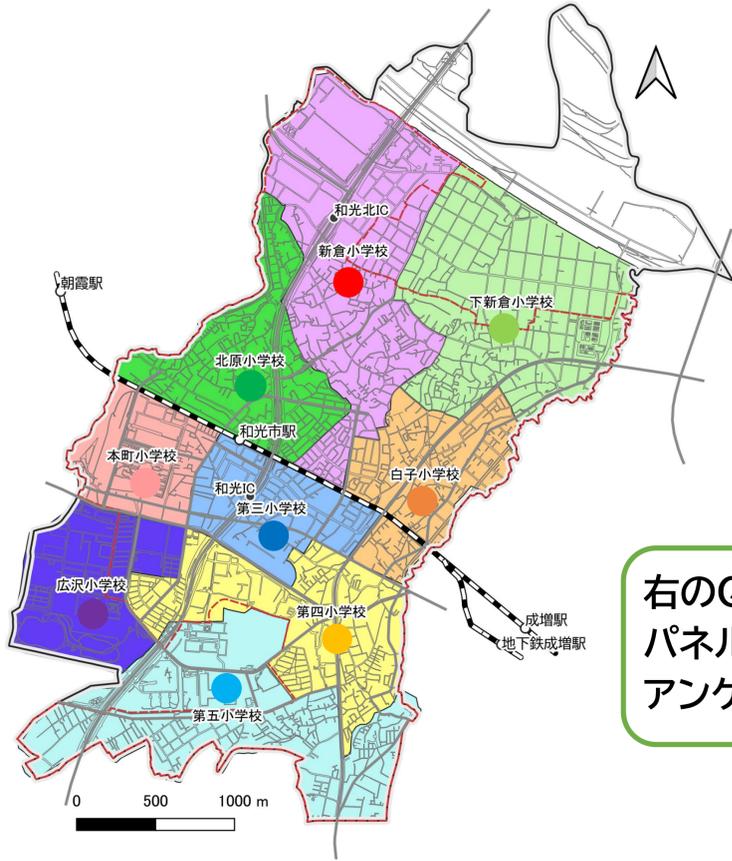
都市計画マスタープランで実現化を目指す

5. 今後のスケジュール



6. 計画に関するアンケートのお願い

今後の計画づくりにみなさまのご意見を反映し、みなさまに寄り添ったまちづくりをするためにアンケートのご協力をお願いいたします。

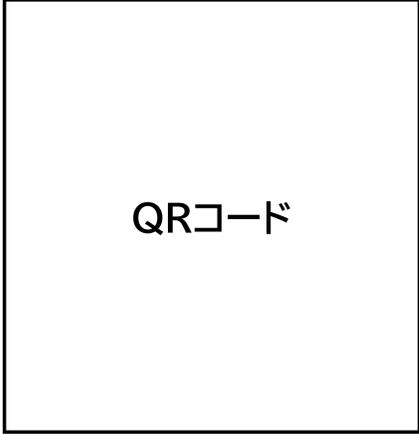


ご自身のお住いの地域またはお住いに近い地域に当てはまる色のシールを選び、以下の設問への回答をお願いします！

シールの色

- 新倉小学校区
- 白子小学校区
- 第三小学校区
- 下新倉小学校区
- 本町小学校区
- 第四小学校区
- 北原小学校区
- 白子小学校区
- 第五小学校区

右のQRコードからでもパネルの内容の確認、アンケートへの回答が可能です。



①お住まいの地域の住みやすさ・利便性を教えてください。
 (1)～(3)それぞれについて、4段階のうち最も近いと思うものを選んでください。

(1)買い物や通院など日常生活のしやすさ (例)新倉小地域の方 とても便利だな～ 赤のシール●を当てはまる枠に貼ってね！	とても便利・生活しやすい	それなりに便利・生活しやすい	あまり生活しやすすくない	不便
	駅周辺以外の地域で不便な地域が多ければ、暮らしの拠点が必要ということの裏付け			

(2)自宅から、駅や目的地までの公共交通の利便性(市内の公共交通について)	とても便利	それなりに便利	あまり便利ではない	不便
	公共交通が不便な地域を確認し、交通施策の裏づけ			

(3)浸水や土砂災害などの災害による安全性	とても安全だと思う	それなりに安全だと思う	少し不安がある	不安
	不安と感じている地域を確認し、防災指針の施策の裏付け			

② 今後、和光市駅周辺がどうなってほしいですか？
(2つまで回答可)

オレンジのシール●を
当てはまる枠に貼ってね！

(例)白子小地域の方

大きい商業施設が
あったらいいな～



もっと色々な施設が
充実してほしい

もっと歩いて回れる
環境を整えてほしい

公共交通の乗り継ぎを
しやすくしてほしい

拠点性の向上の取組施策の参考
とする

和光市駅北口の開発を
早く進めてほしい

イベントなどで
にぎわいがある駅前
になってほしい

③ 防災に関する今後のソフト対策として、
特に重要と考えることはどれですか？(2つまで回答可)

ピンクのシール●を
当てはまる枠に
貼ってね！

(例)本町小地域の方

防災意識を高めることなら
私たちにもできそうだね！



市民の防災意識を
高める

例:備蓄品の確認/防災に
関する学習

防災に関する
様々な計画を考える

例:復興まちづくりの
事前検討への参加

様々な伝達手段により
災害情報を的確に
提供する

例:緊急速報メールの登録

防災に関する整備等
への助成を充実する

例:自主防災組織の活動
事業費補助金の交付

避難できる場所や
体制を整える

例:避難訓練の実施

防災指針で取組を記載する際に、
ソフト対策はどこまで書くか判断
が難しいため、参考とする